

IT Automation エクスポート/インポート 【座学編】

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Exastro

目次

- 1. はじめに
 - 1. 本書について
- 2. エクスポート/インポート機能
 - 1. 概要(総合)
 - 2. 概要(メニュー)
 - 3. <u>概要(symphony/オペレーション)</u>
 - 4. エクスポートで取得できるデータ
 - 5. メニュー概要
 - 6. 作業の流れ
 - 7. <u>各メニューの</u>説明

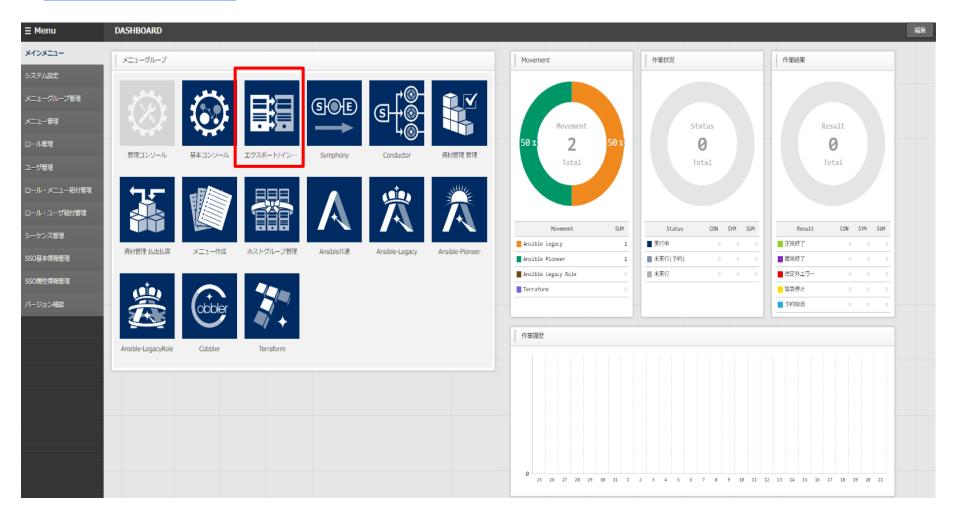
2. エクスポート/インポート機能



1.1 はじめに

本書について

本書では「エクスポート/インポート」について説明しております。 <u>利用手順マニュアル</u>により詳細な仕様を掲載しています。必要に合わせてご参照ください。



2. エクスポート/インポート機能

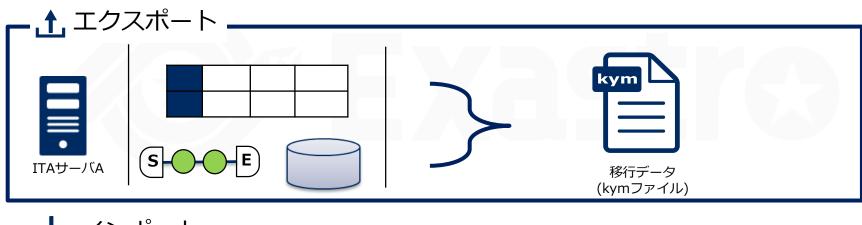


2.1 概要(総合)

エクスポート/インポート機能の概要

「エクスポート/インポート」機能を使用することで下記のデータを別のITAサーバへ移行できま す。

- ●メニューと登録データ
- ●作成したSymphonyやオペレーション





2.2 概要(メニュー)

メニューエクスポート/インポート

登録情報をメニュー単位でITAサーバに移行することができます。 インポート時、既存の同一メニューは全体が置き換えられます。

ITAサーバに存在する全メニューをエクスポートすることも、 必要なメニューだけを選んでエクスポートすることも可能です。

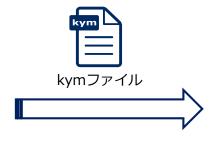
イメージ図



本番環境の「ITAサーバB」で必要な メニューだけをテスト環境から移行したい。









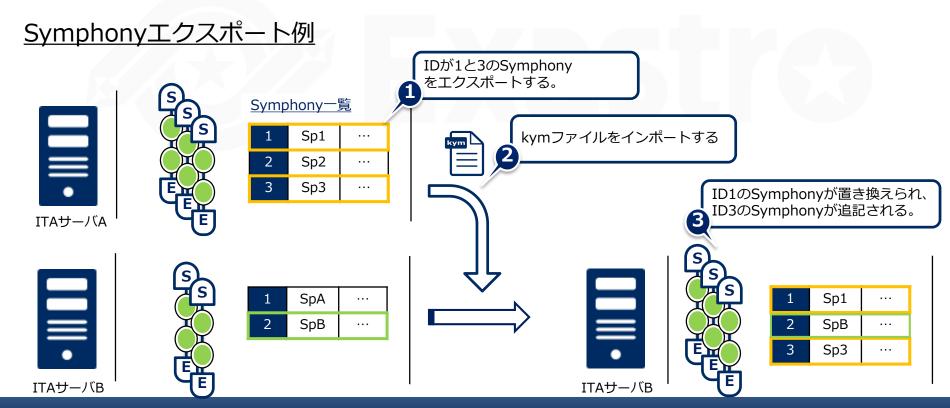


2.3 概要(Symphony/オペレーション)

Symphony/オペレーション エクスポート/インポート

選択したSymphonyまたはオペレーションを別のITAサーバへ移行できます。 そこに紐づくMovementの情報なども合わせて移行されます。(詳細次項)

メニューエクスポートと比べて、選択したSymphony/オペレーションに 紐づくレコードのみ取得し、移行先のメニューへ追記する点が異なっています。



2.4 エクスポートで取得できるデータ(1/3)

Symphonyエクスポート時に取得されるデータ(Anisble-Driver)

Symphonyをエクスポートする際、関連メニューを辿り必要な情報がすべて取得されます。

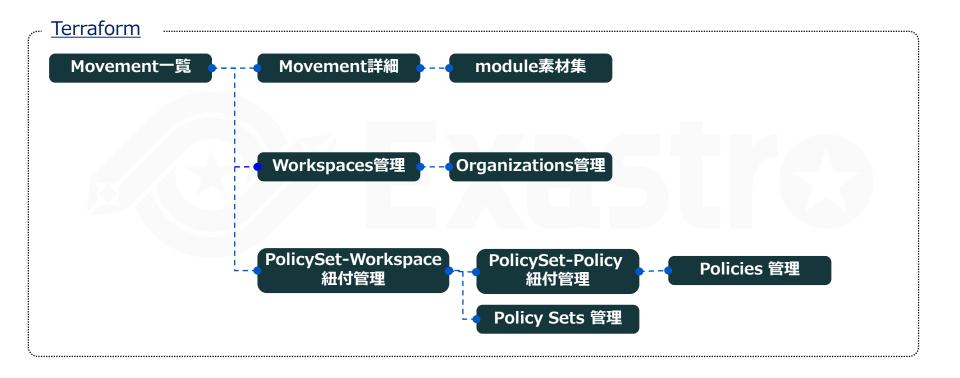
- ・オーケストレータに応じて必要なデータが取得されます。
- ・各レコードの変更履歴も取得されます。
- ・同じIDのレコードが存在する場合、移行データで上書きされます。



2.4 エクスポートで取得できるデータ(2/3)

Symphonyエクスポート時に取得されるデータ(Terraform)

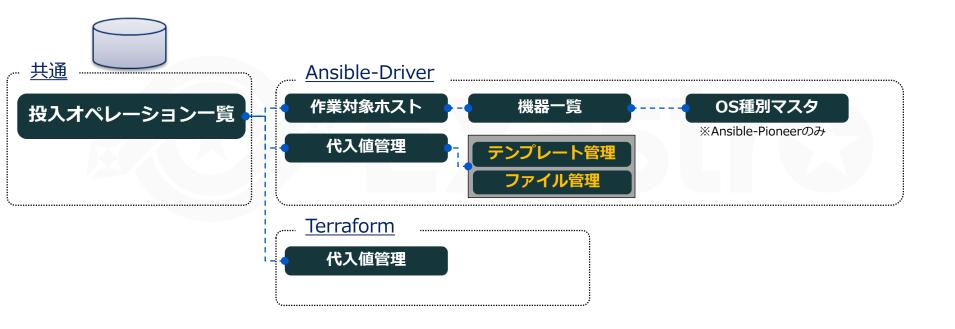
オーケストレータがTerraformの場合、下図のようにデータが取得されます。



2.4 エクスポートで取得できるデータ(3/3)

【オペレーションエクスポート時に取得されるデータ

オペレーションをエクスポートする際に取得されるデータは下図の通りです。 代入値管理や作業対象ホストに関連するデータが取得されます。



2.5 メニュー概要

メニュー概要

エクスポート/インポート機能について、各メニューの機能を紹介します。

メインメニュー	
メニューエクスポート	メニューを選択してエクスポートできます。
メニューインポート	
エクスポート/インポート管理	実行したエクスポート・インポートの状況確認や データのダウンロードができます。
Symphony/オペレーション エクスポート	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
Symphony/オペレーション インポート	「Symphony/オペレーションエクスポート」で エクスポートしたファイルをインポートできます。
Symphony/オペレーション エクスポート/インポート管 理	実行したエクスポート・インポートの状況確認や データのダウンロードができます。

2.6 作業の流れ

作業の流れ

エクスポート/インポート作業の流れは以下の通りです。 実習編では各作業をより詳細に扱っておりますので、合わせてご確認ください。

1. エクスポートする

メニューエクスポート

Symphony/オペレーションエクスポート

2. kymファイルをダウンロードする

エクスポート/インポート管理

Symphony/オペレーション エクスポート/インポート管理

3. インポートする

メニューインポート

Symphony/オペレーションインポート

4. インポートを確認する

エクスポート/インポート管理

Symphony/オペレーション エクスポート/インポート管理

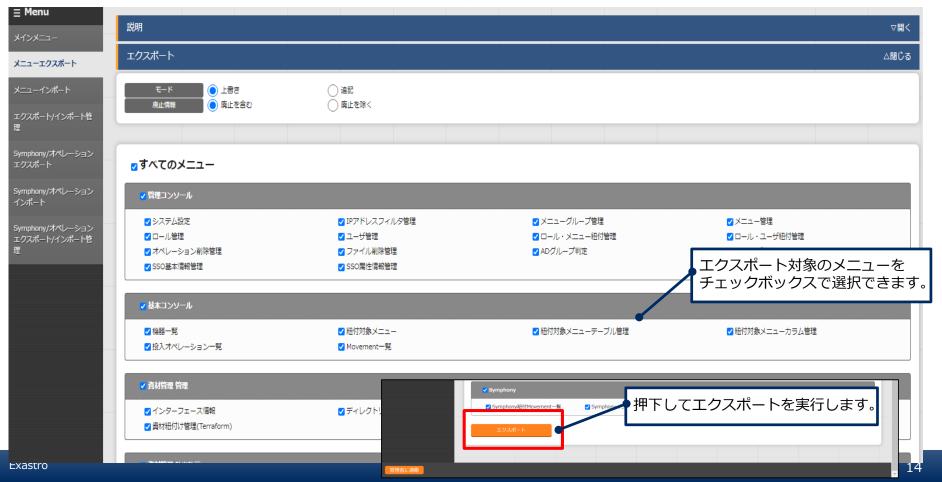
2.7 各メニューの説明(1/6)

メニューエクスポート

メニューが一覧で表示されており、必要なメニューを選択してエクスポートできます。

「モード」はインポートする際に既存データをすべて削除してデータを上書きするか差分のみ追加するか 指定します。

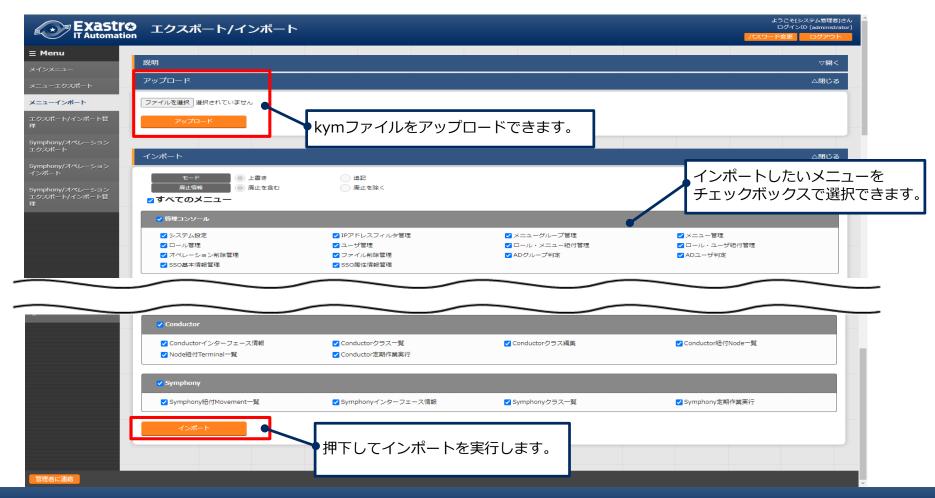
「廃止情報」は上記「モード」でインポートする際に、廃止状態のデータを含むすべてのデータでインポートするかと除いたデータでインポートするか指定します。



2.7 各メニューの説明(2/6)

メニューインポート

「メニューエクスポート」メニューでエクスポートしたデータをアップロードして、 必要なメニューをインポートできます。



2.7 各メニューの説明(3/6)

エクスポート/インポート管理

実行したエクスポート/インポートの情報を確認できます。 作業の進行ステータスの確認や、移行データのダウンロードができます。



2.7 各メニューの説明(4/6)

Symphony/オペレーションエクスポート

Symphonyとオペレーションが一覧で表示されており、 必要なものを選択してエクスポートできます。



2.7 各メニューの説明(5/6)

Symphony/オペレーション インポート

「Symphony/オペレーションエクスポート」メニューでエクスポートしたデータを アップロードして、必要なメニューをインポートできます。



2.7 各メニューの説明(6/6)

Symphony/オペレーション エクスポート/インポート管理

実行したエクスポート/インポートの情報を確認できます。 作業の進行ステータスの確認や、移行データのダウンロードができます。



